

2023年3月期 決算ハイライト

2023年5月12日

未来を、ひろげる。

- ◆ 本業は堅調である中、収支が逆ザヤとなった外国債券の処分に伴う売却損や、保有株式の評価損にかかる損失の計上などマーケットの変動を受けた対応を主因として、親会社株主に帰属する当期純利益は、前年比104億円減益の125億円

連結業績サマリー

(億円)

	2022年度	前年比 (増減率)	公表比 ※2
連結粗利益	793	△ 127 (△13.7%)	
(除く国債等債券関係損益)	① 961	△ 31	
資金利益	662	△ 33	
役務取引等利益	208	△ 3	
特定取引・その他業務利益	△ 77	△ 90	
(うち国債等債券関係損益)	② △ 167	△ 95	
営業経費 (△)	580	0	
与信費用 (△)	③ 6	△ 118	(前年) 予防的な引当116
株式等関係損益	④ △ 22	△ 73	
その他	4	0	
経常利益	187	△ 83 (△30.6%)	2
特別損益	△ 5	△ 63	
法人税等合計 (△)	57	△ 42	(前年) 退職給付信託返還益70
非支配株主に帰属する当期純利益 (△)	0	0	
親会社株主に帰属する当期純利益	⑤ 125	△ 104 (△45.4%)	0
(参考) 営業経費率 ※1	60.4%	1.9%	

※1. 営業経費率 = 営業経費 ÷ (連結粗利益 - 国債等債券関係損益)

※2. 2023年3月22日公表「連結業績予想の修正に関するお知らせ」による公表値との比較

2022年度決算のポイント

① 連結粗利益 (除く国債等債券関係損益)

- 海外金利上昇により外貨調達費用が大幅に増加し、資金利益は減少
- 経営目標として掲げて重点的に取り組んでいる銀行のコンサルティング業務のうち、特に注力している法人ソリューション収益は順調に増加

(億円)

	前年比
〔銀行〕非資金利益	+20
うち法人ソリューション収益	+23

② 国債等債券関係損益

- 有価証券ポートフォリオの再構築に向け、米国の急激な政策金利引き上げにより収支が逆ザヤとなった外国債券を処分 (売却簿価2,464億円、△売却損184億円を計上)

③ 与信費用

- 一部のお取引先について引当の積み増しを行うなど、予防的な引当43億円を計上
- 一方で、大口先の回収が進んだことや足元で大口与信先の倒産等も発生しておらず、与信費用は6億円の低水準に止まる

④ 株式等関係損益

- 保有株式について、株価下落等に伴い評価損が拡大したことによる損失 (株式等償却)53億円を計上

⑤ 親会社株主に帰属する当期純利益

- 上記要因に加え、前年に計上した退職給付信託返還益(特別利益)70億円の剥落影響もあり、前年比104億円減益の125億円

主なグループ会社の実績（銀行）

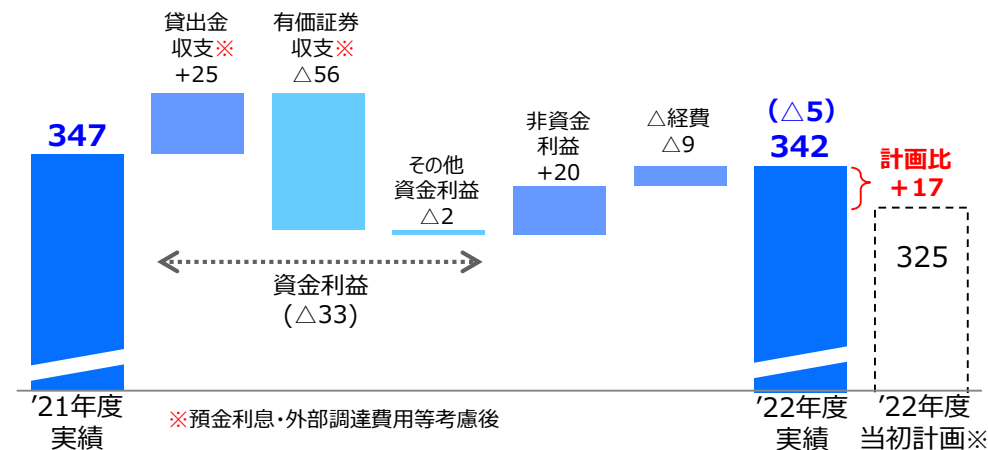
銀行単体

- ◆ 貸出金収支の増加(+25億円)に加え、法人ソリューション収益の着実な積み上げにより非資金利益も増加(+20億円)するなど、本業の業績は堅調
- ◆ 一方で、海外金利上昇により外貨調達費用が増加し、有価証券運用にかかる収支が悪化(△56億円)

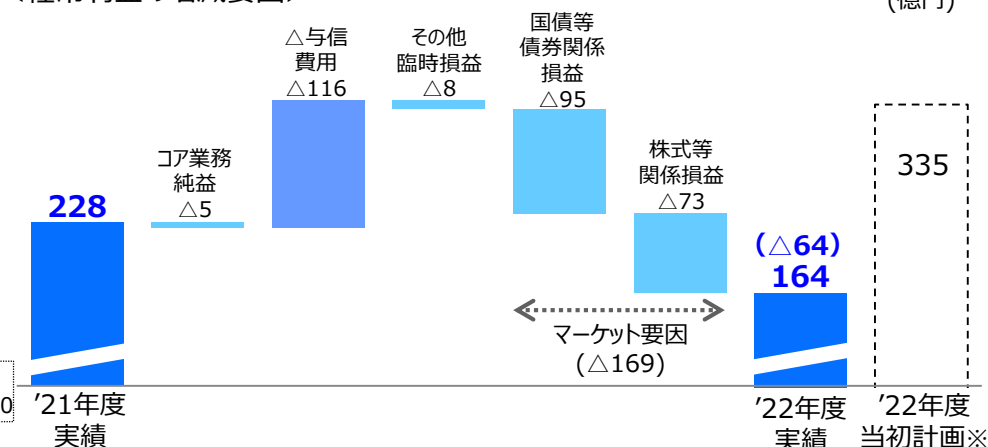
銀行

	2022年度	前年比	(増減率)
コア業務粗利益	865	△ 14	(△1.5%)
資金利益	674	△ 33	
非資金利益	191	20	
法人ソリューション	73	23	
うち対顧客向けデリバティブ	35	23	
うち事業承継支援・M&A	10	4	
アセットマネジメント	50	△ 4	
その他（内国為替、外国為替等）	68	1	
経費（除く臨時処理分）	523	△ 9	
コア業務純益	342	△ 5	(△1.3%)
コア業務純益（除く投信解約損益）	342	△ 5	(△1.3%)
国債等債券関係損益	△ 167	△ 95	
実質業務純益	174	△ 100	(△36.4%)
与信費用	3	△ 116	
株式等関係損益	△ 22	△ 73	(前年) 予防的な引当116
その他臨時損益	15	△ 8	
経常利益	164	△ 64	(△28.1%)
特別損益	△ 5	△ 64	(前年) 退職給付信託返還益70
法人税等合計	43	△ 38	
当期純利益	115	△ 91	(△44.2%)

<コア業務純益の増減要因>



<経常利益の増減要因>



※ 2022年5月13日公表

主なグループ会社の実績（銀行以外）

グループ各社

- ◆ 仕組債の販売停止(一部を除く)や相場動向の影響を受け、金融商品販売が低調となった証券の減益を主因として、グループ会社当期純利益は、前年比12億円減益の23億円
- ◆ ヒューマンリソース及びエリアデザインは、当初計画より早く、設立2年目で黒字化

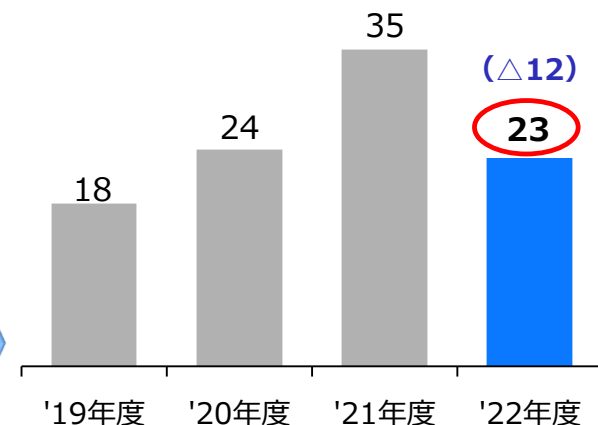
証券			リース			しまなみ債権回収		
(百万円)	2022年度	前年比	(百万円)	2022年度	前年比	(百万円)	2022年度	前年比
業務粗利益	4,230	△ 1,759	業務粗利益	2,383	53	業務粗利益	679	△ 263
経常利益	269	△ 1,590	経常利益	928	△ 205	経常利益	276	△ 80
当期純利益	126	△ 1,137	当期純利益	577	△ 158	当期純利益	210	△ 30

ヒューマンリソース			キャピタルパートナーズ			ITソリューションズ		
(百万円)	2022年度	前年比	(百万円)	2022年度	前年比	(百万円)	2022年度	前年比
業務粗利益	184	121	業務粗利益	137	35	業務粗利益	1,033	47
経常利益	22	48	経常利益	41	30	経常利益	270	△ 20
当期純利益	13	31	当期純利益	28	21	当期純利益	179	△ 8

エリアデザイン			カードサービス ※			保証 ※		
(百万円)	2022年度	前年比	(百万円)	2022年度	前年比	(百万円)	2022年度	前年比
業務粗利益	230	60	業務粗利益	1,868	223	業務粗利益	1,598	33
経常利益	19	26	経常利益	409	△ 120	経常利益	1,351	112
当期純利益	13	18	当期純利益	269	△ 66	当期純利益	893	80

※ 2023年4月1日付で、ひろぎん保証株式会社はひろぎんカードサービス株式会社を吸収合併し、同日付で商号をひろぎんクレジットサービス株式会社に変更しております。

グループ会社当期純利益
 グループ会社当期純利益 = 銀行を除く連結子会社の当期純利益に
 出資比率を乗じた額の合計
 (億円)



(参考) (億円)

HD単体当期純利益	158
(+) 銀行	115
(+) 銀行以外のグループ会社	23
(△) 子会社からの配当金の相殺等	171
HD連結当期純利益	125

- ◆ 持株会社を設立して2年半が経過する中、各事業会社間の相互連携が順調に進み、グループのあらゆる機能とアライアンスを活用した非金融分野を含めたソリューションの提供を通じ、顧客軸は着実に拡大しており、持株会社体制移行の目的を達成しつつある

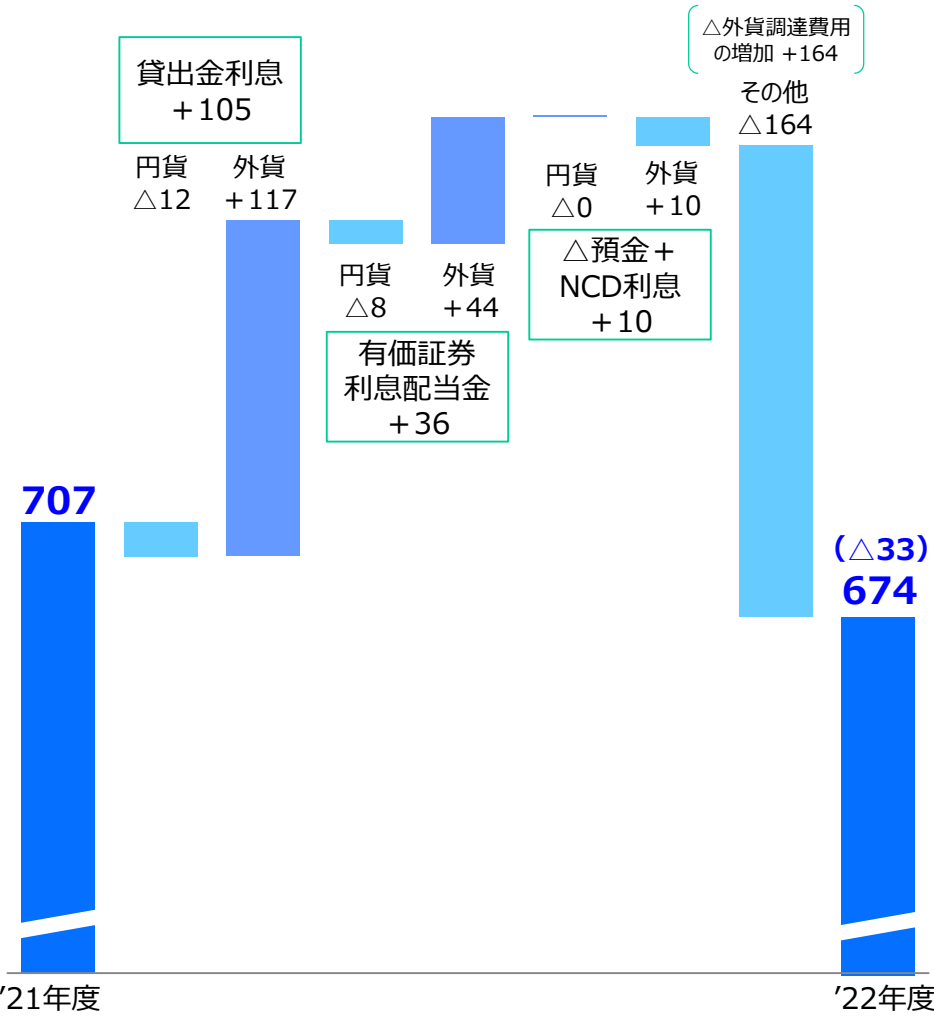
グループ会社の主な取組み

	金融・非金融ニーズ	ソリューションの主体	実績 * '22年度・'23/3末		【参考】 持株会社体制移行 ('20/10)後の累計
金融連結子会社	資産運用	証券	金融商品仲介 口座数	28,624口座 ('22/3末比+2,503)	'20/9末比 +7,581口座
	設備投資・ リース活用	リース	取引先数	6,412先 ('22/3末比+88)	'20/9末比 +254先
	債権買取	しまなみ 債権回収	落札先数	252先 ('21年度比△50)	'20/10以降 776先
	資本増強 (事業承継・事業再生)	キャピタル パートナーズ	出資残高 (ファンド・プリンシパル出資合計)	37億円 ('22/3末比+8)	'20/9末比 +36億円
非金融連結子会社	人材確保・ 人事制度構築	ヒューマンリソース (2021年4月新規設立)	顧問契約社数	81社 ('22/3末比+50)	'21/4月以降 +81社
	ICT・業務効率化	ITソリューションズ (2021年1月子会社化)	案件成約件数	203件 ('21年度比+103)	'21/1月以降 316件
	地域課題解決	エリアデザイン (2021年4月新規設立)	期中受注案件	22件 ('21年度比+3)	'21/4月以降 41件

経営成績の推移（資金利益、非資金利益）

資金利益の増減要因

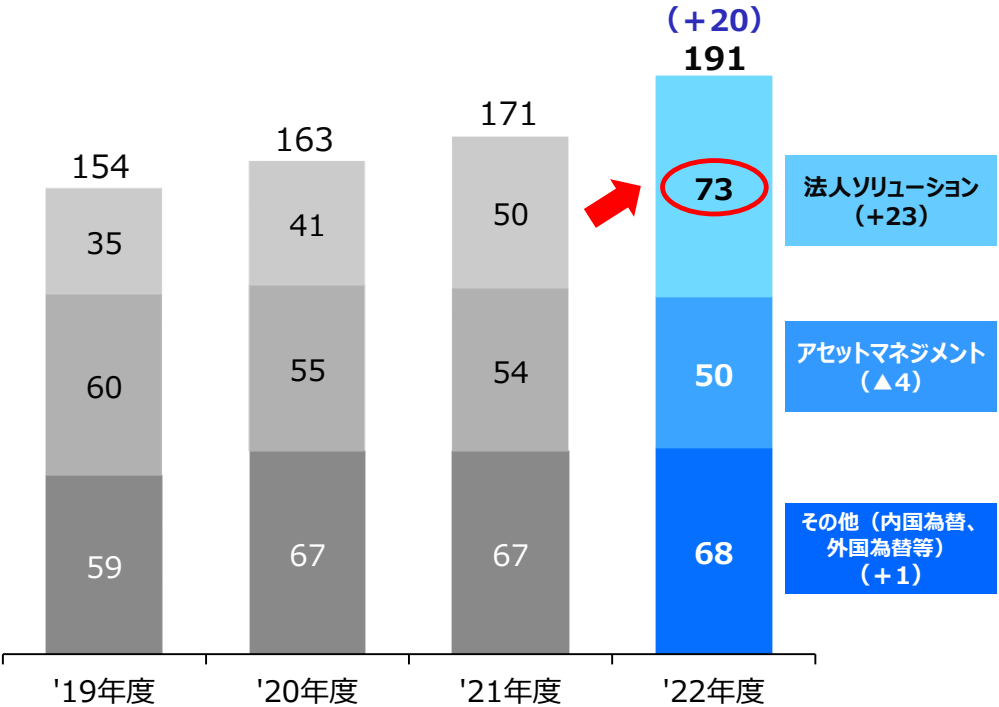
(億円)



非資金利益

非資金利益 = 役務取引等利益 + 特定取引利益 + その他業務利益（除く国債等債券関係損益）

(億円)



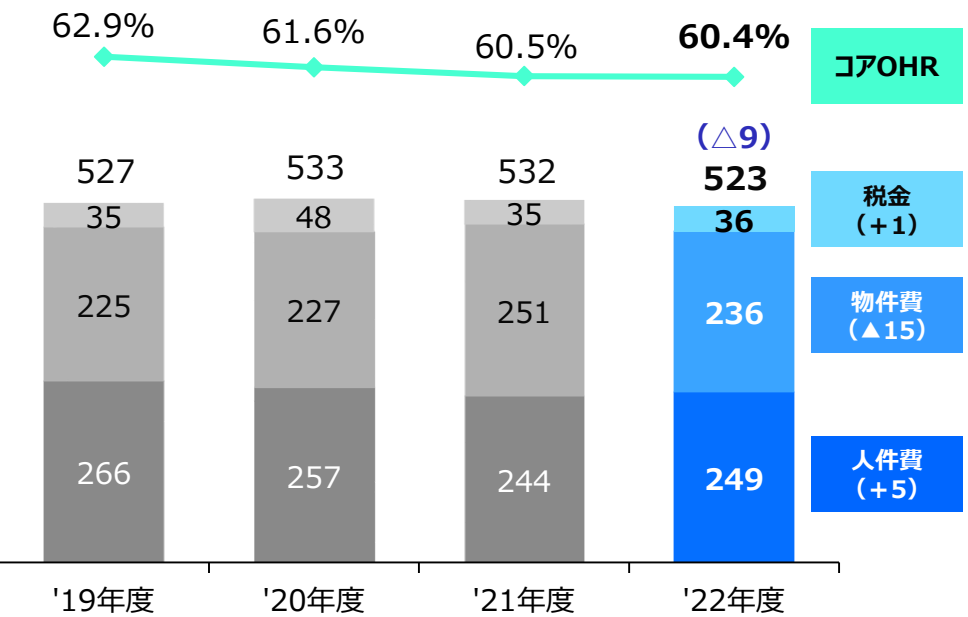
(参考) 法人・個人のお客さまに対するコンサルティング業務に係る収益 (億円)

	'19年度	'20年度	'21年度	'22年度	前年比
法人ソリューション	35	41	50	73	23
うち対顧客向けデリバティブ	10	11	12	35	23
うち事業承継支援・M & A	4	6	6	10	4
アセットマネジメント	60	55	54	50	△ 4
うち信託	5	6	7	8	1
エクイティビジネス	13	-	9	2	△ 7
合計	108	96	113	125	12

経営成績の推移（経費、コア業務純益／当期純利益）

経費（除く臨時処理分）・コアOHR

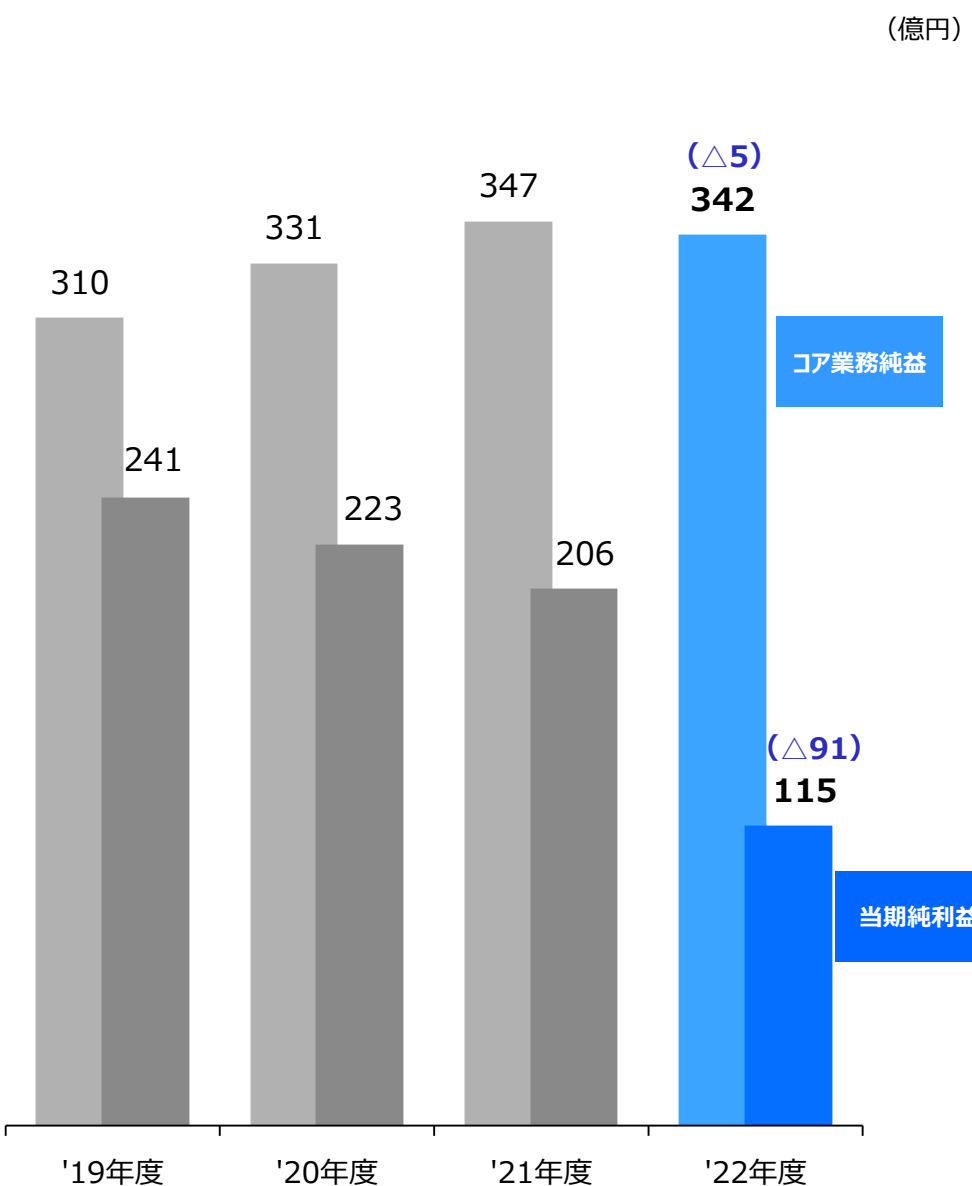
コアOHR = $\frac{\text{経費}}{\text{コア業務粗利益}}$ (億円)



(参考) 経費の主な増減要因 (億円)

	前年比	主な要因
人件費	+5	・退職給付費用+10 ・役員・従業員（出向者）に係るHD負担分の増加△2
物件費	△15	・預金保険料△12 ・本社ビル関連△6（備品等） ・HDに対する経営管理料+3（連結では相殺）
税金	+1	・本社ビル関連+2（不動産取得税等）
経費合計	△9	

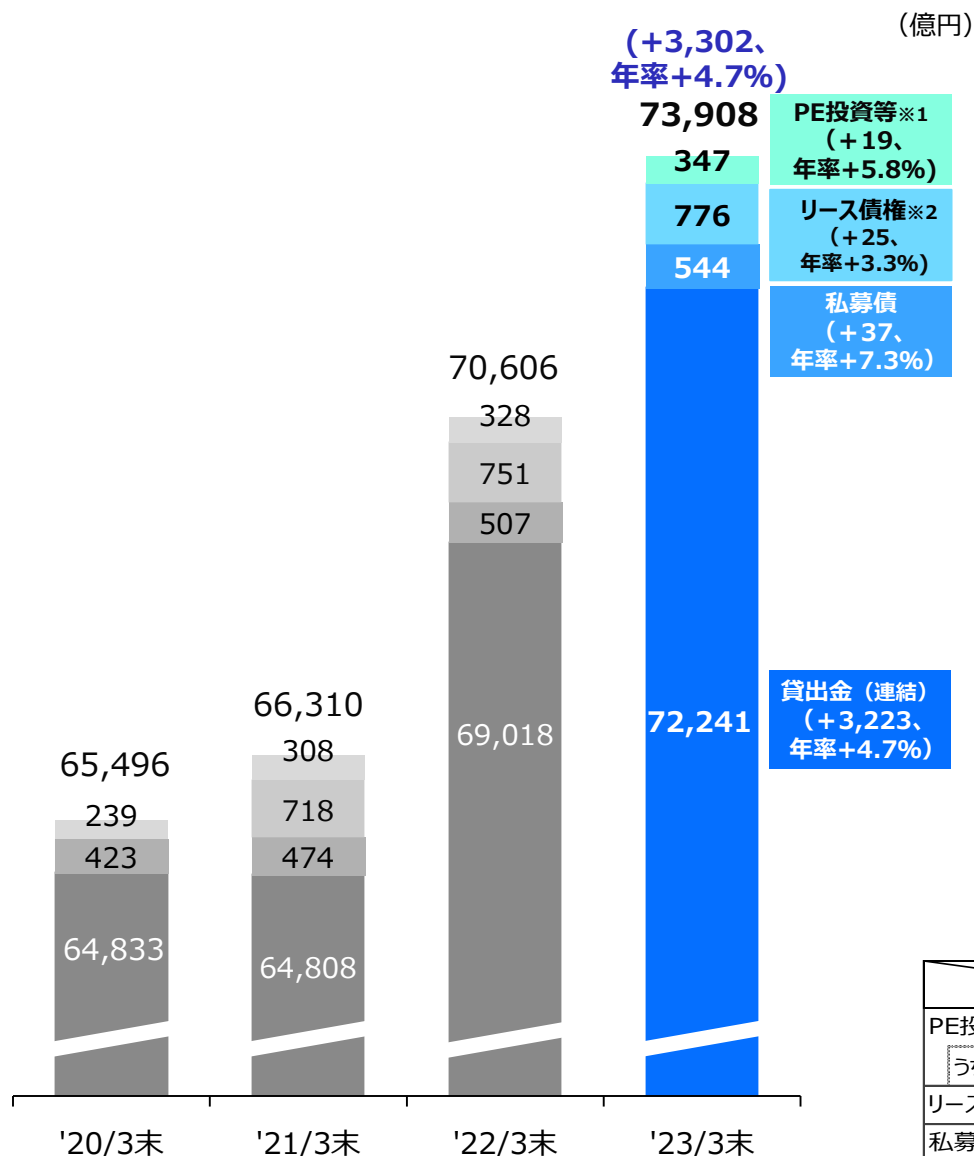
コア業務純益／当期純利益



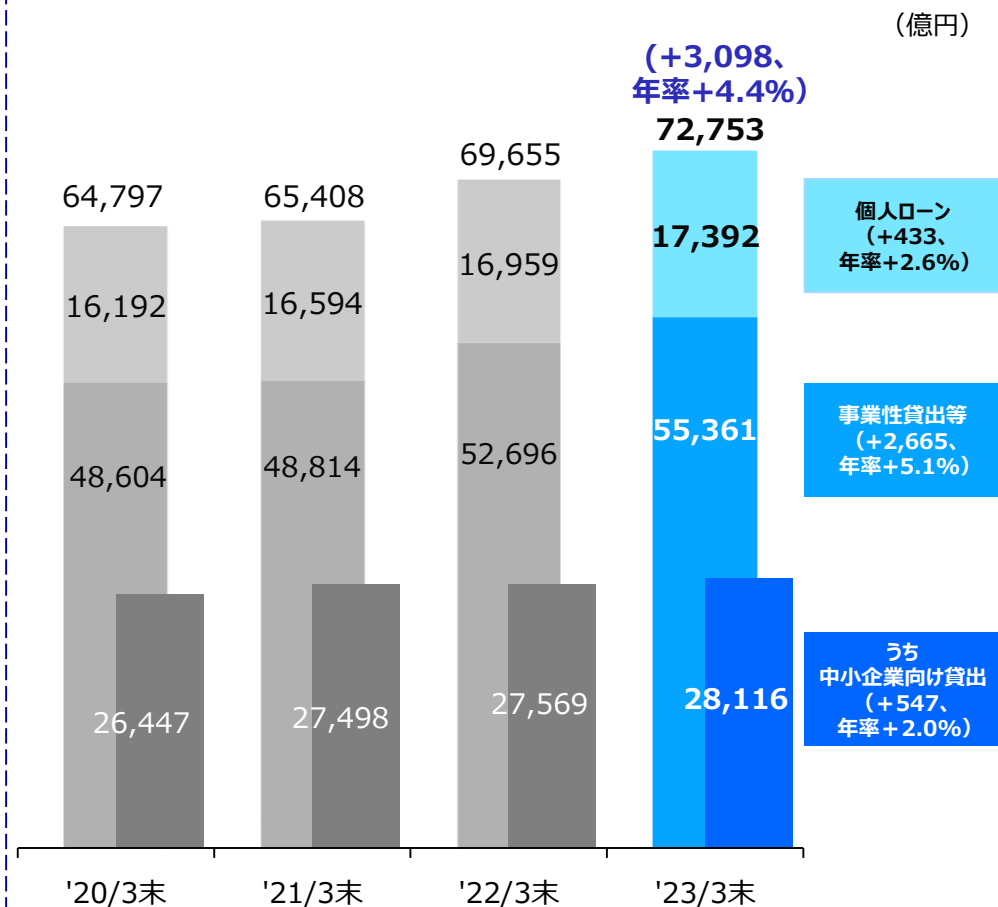
グループ総与信（貸出金＋私募債＋リース＋プライベートエクイティ投資等）

HD連結
銀行単体

【HD連結】グループ総与信



【銀行単体】貸出金残高



(億円)

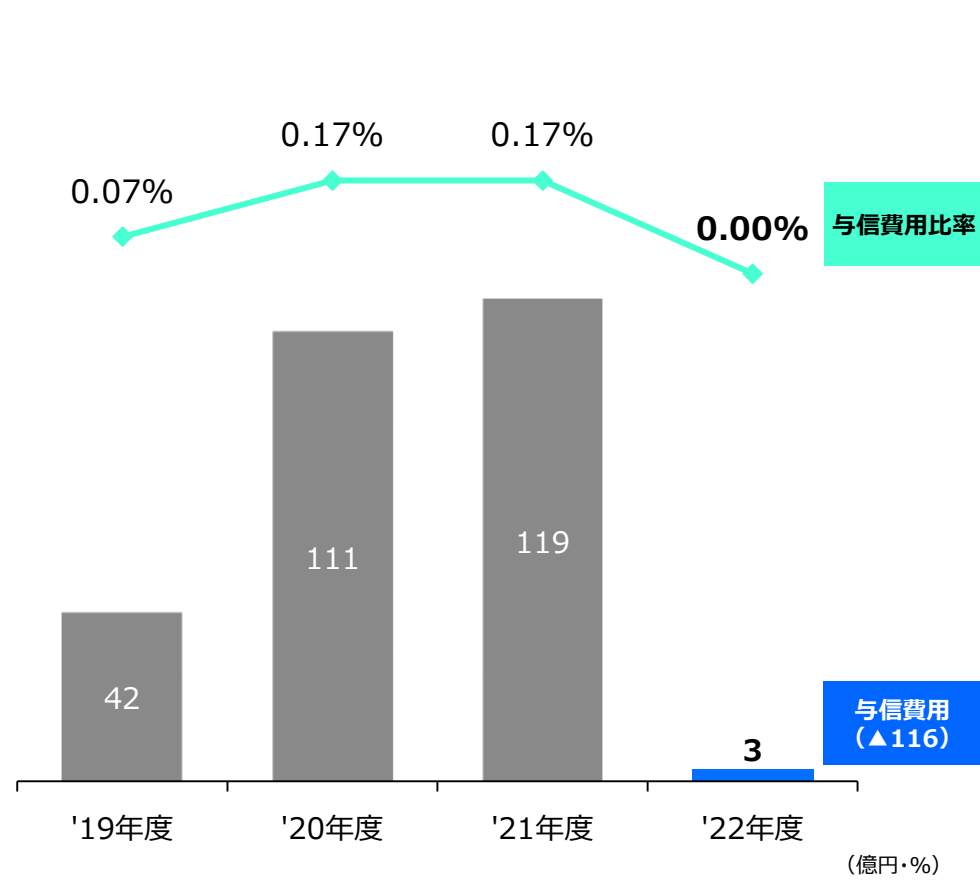
	'20/3末	'21/3末	'22/3末	'23/3末	'22/3末比
PE投資(出資約束額)等 ※1	239	308	328	347	19
うち出資残高	96	131	160	159	△ 1
リース債権 ※2	-	718	751	776	25
私募債	423	474	507	544	37

※1. PE投資等には、私募REIT出資を含んでおります。

※2. 2021年3月1日付で完全子会社化したひろぎんリースのリース債権等を計上しております。

与信費用・与信費用比率

与信費用比率 = $\frac{\text{与信費用}}{\text{貸出金残高}}$ (億円)

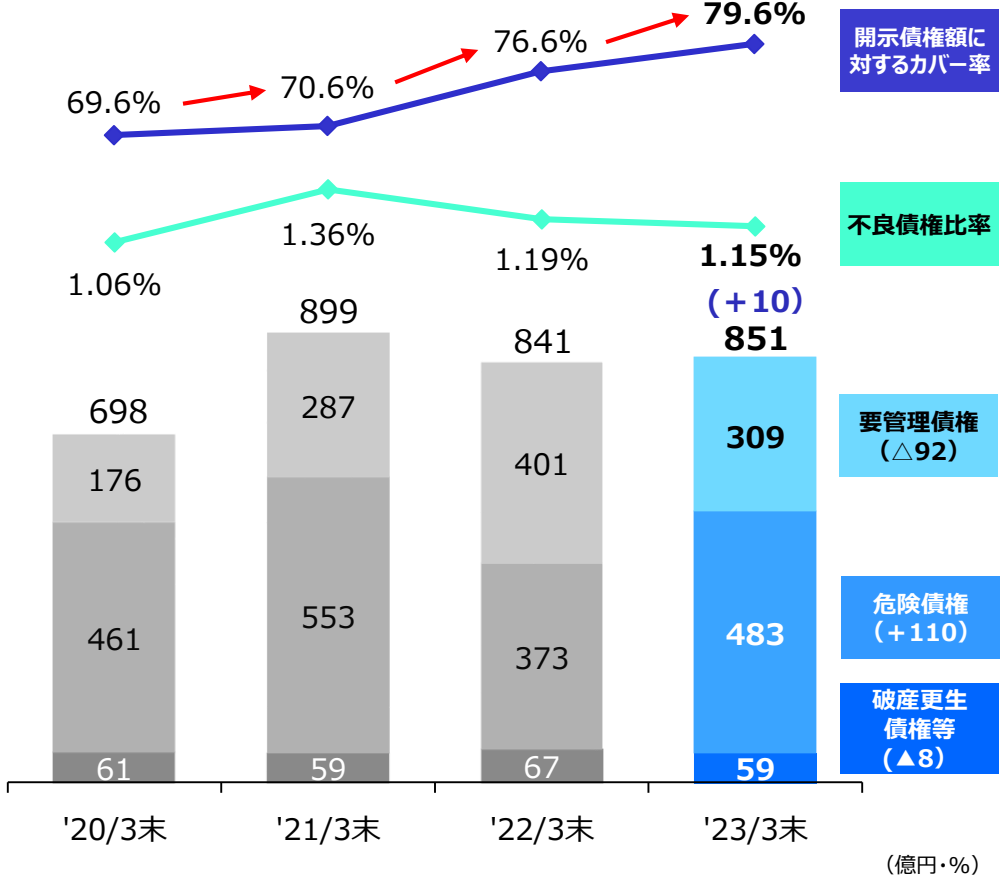


	'08年度	'09年度	'10年度	'11年度	...	'19年度	'20年度	'21年度	'22年度
与信費用	232	146	119	91	...	42	111	119	3
与信費用比率	0.53	0.33	0.27	0.20	...	0.07	0.17	0.17	0.00

金融再生法開示債権額・不良債権比率

不良債権比率 = $\frac{\text{金融再生法開示債権額}}{\text{総与信}}$ (億円)

開示債権額に対するカバー率 = $\frac{\text{カバー額 (貸倒引当金 + 担保保証等による保全)}}{\text{金融再生法開示債権額}}$

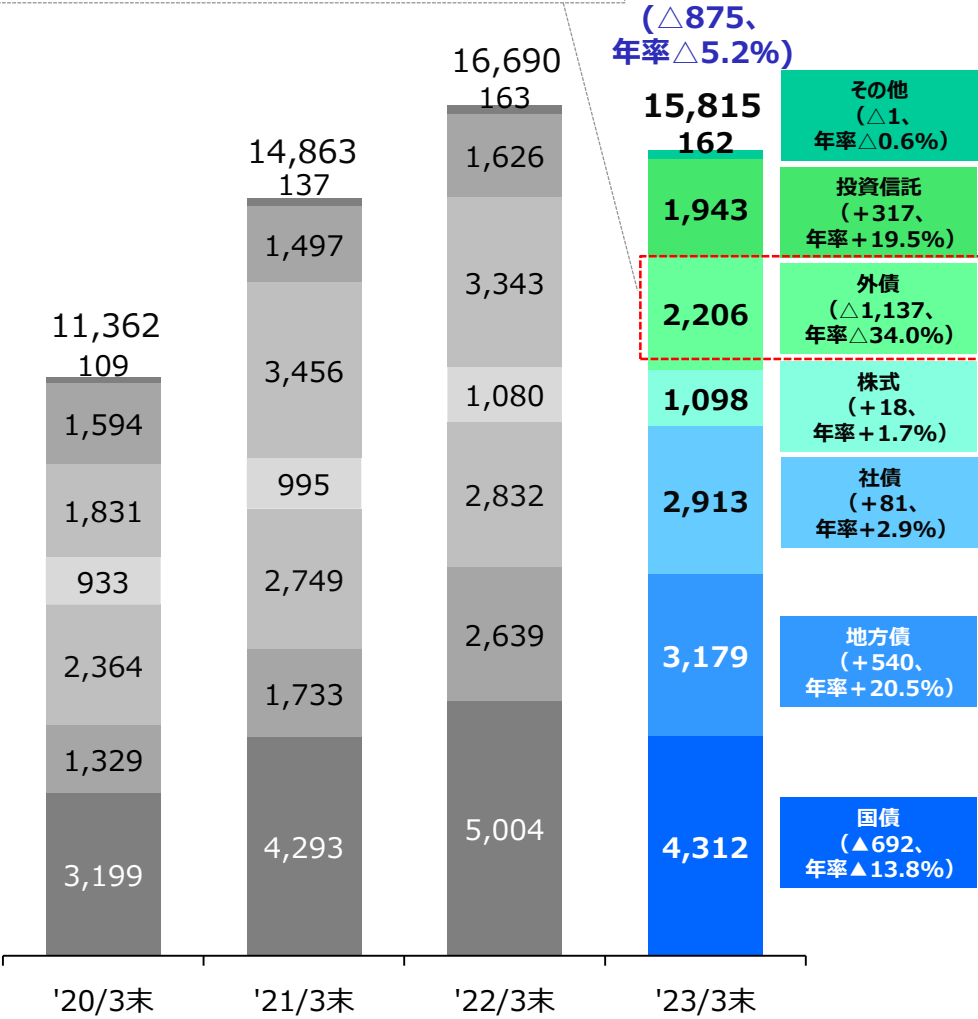


	'09/3末	'10/3末	'11/3末	'12/3末	...	'20/3末	'21/3末	'22/3末	'23/3末
金融再生法開示債権額	1,284	1,119	1,158	1,052	...	698	899	841	851
不良債権比率	2.82	2.50	2.60	2.31	...	1.06	1.36	1.19	1.15

(注) 金融再生法開示債権額は、単位未満を四捨五入して表示しております。

有価証券残高

- ・収支が逆ザヤとなった外債(簿価2,464億円)を処分(米国債は全て売却 ⇒2023/3末時点で残高無し)
- ・外貨調達金利の環境に左右されにくい変動債を積み増し



有価証券評価損益

(億円)

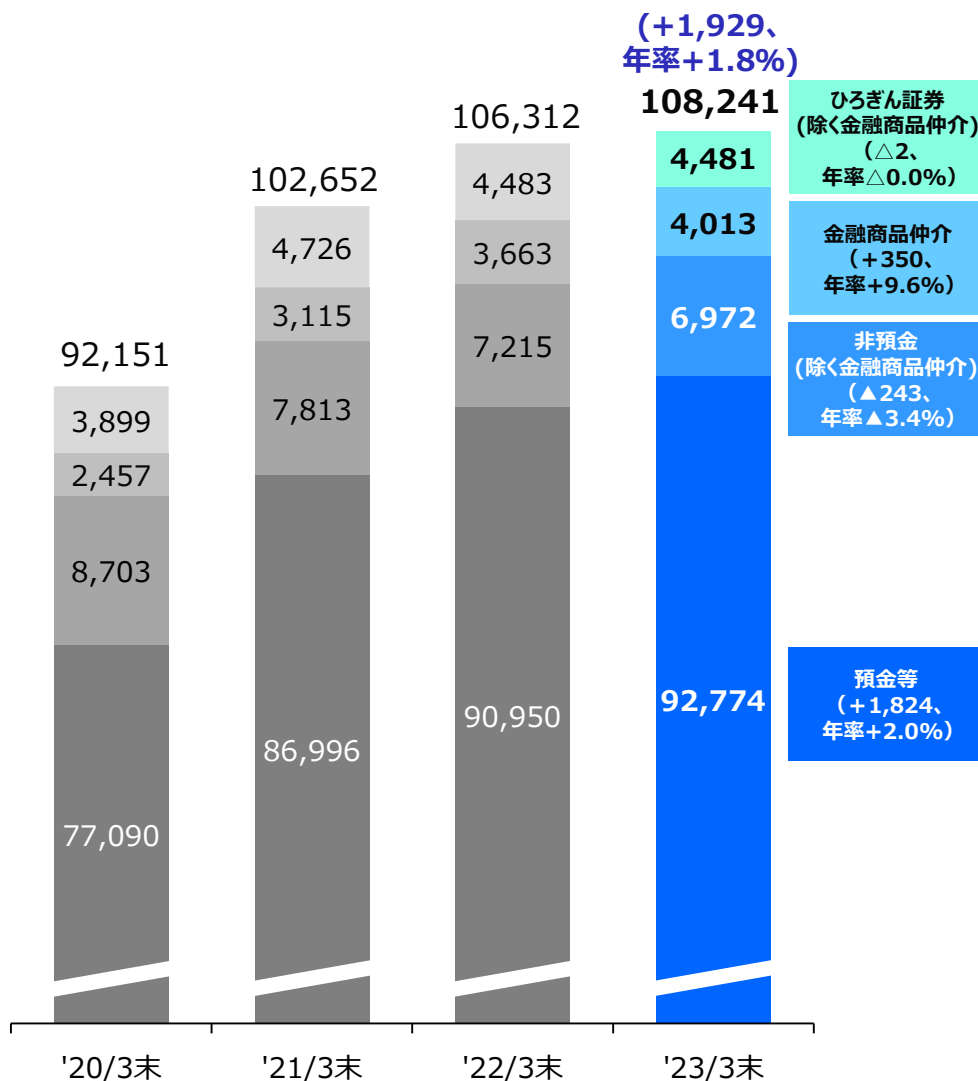
	'20/3末	'21/3末	'22/3末	'23/3末	'22/3末比
満期保有目的	-	-	-	0	0
債券	-	-	-	0	0
その他	-	-	-	-	-
其他有価証券	208	386	15	△ 125	△ 140
債券	51	1	△ 112	△ 213	△ 101
国債	26	△ 18	△ 84	△ 140	△ 56
地方債	6	5	△ 17	△ 43	△ 26
社債	18	14	△ 10	△ 30	△ 20
株式	222	431	316	406	90
其他	△ 65	△ 46	△ 189	△ 318	△ 129
うち外債	16	△ 58	△ 160	△ 224	△ 64
うち投資信託	△ 81	14	△ 29	△ 96	△ 67
合計	208	386	15	△ 125	△ 140

総預り資産（広島銀行＋ひろぎん証券）、預金等（預金＋譲渡性預金）

HD連結
銀行単体

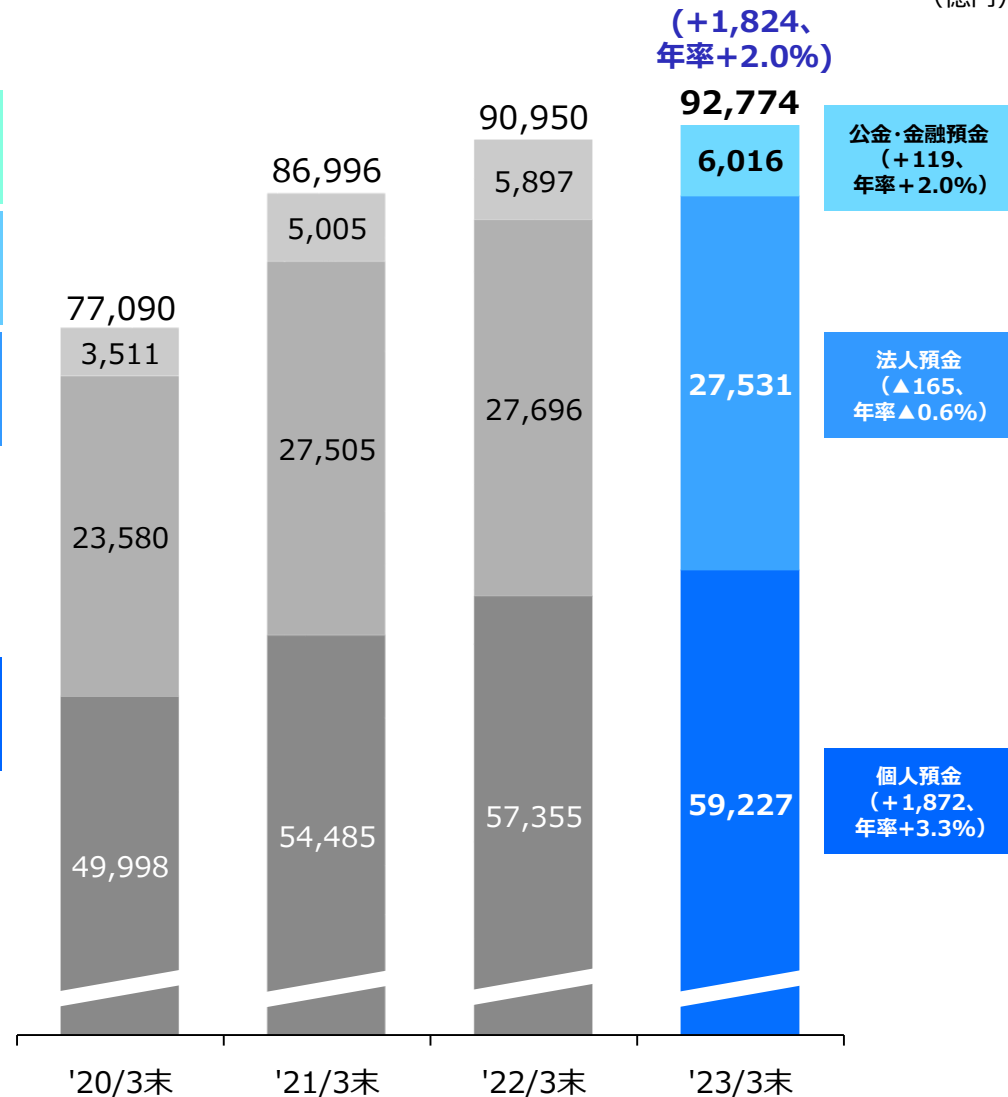
【HD連結】 総預り資産(広島銀行＋ひろぎん証券)

(億円)



【銀行単体】 預金等（預金＋譲渡性預金）残高

(億円)



(注) 1. ひろぎん証券の残高は、時価ベースです。
2. 「ひろぎんアプリ」を通じた金融商品仲介（楽天証券・SBI証券）は含んでおりません。

- ◆ 親会社株主に帰属する当期純利益は、前年比150億円増益の275億円を計画
- ◆ 「中期計画2020」最終年度の経営目標“親会社株主に帰属する当期純利益270億円超”の達成を見込む

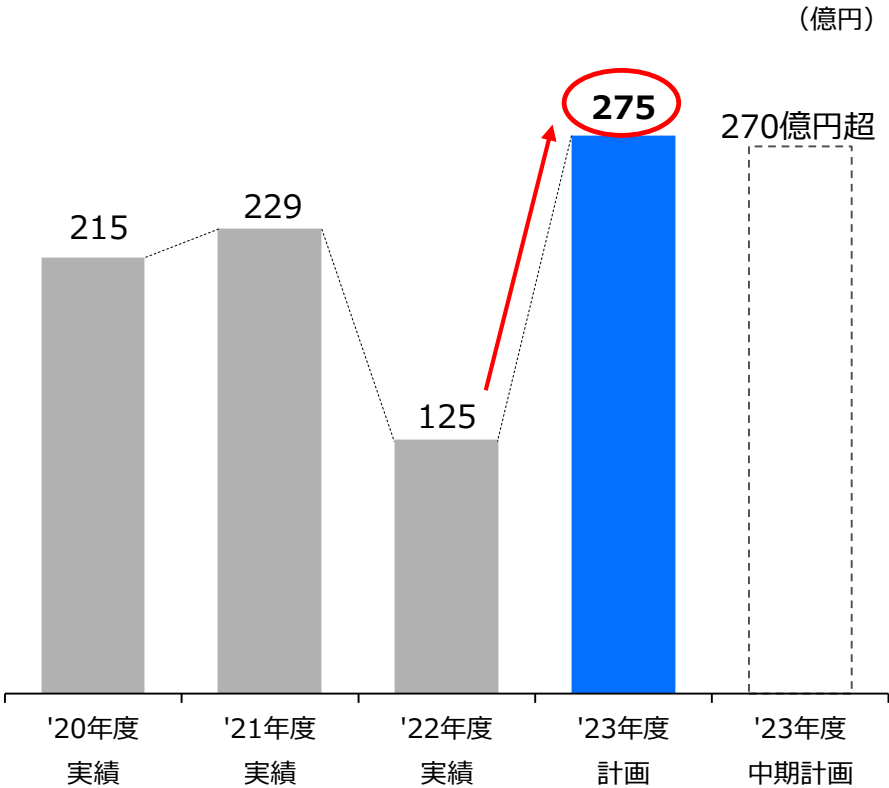
2023年度の業績予想

(億円)			
	中間期 業績予想	2023年度 業績予想	前年比
経 常 利 益	190	395	208
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益	130	275	150

(参考) 広島銀行の2023年度の個別業績予想 (億円)

	中間期 業績予想	2023年度 業績予想	前年比
資 金 利 益		690	16
非 資 金 利 益		165	△ 26
コ ア 業 務 粗 利 益		855	△ 10
経 費 (△)		525	2
コ ア 業 務 純 益		330	△ 12
う ち 有 価 証 券 関 係 損 益		60	250
う ち 与 信 費 用 (△)		50	47
経 常 利 益	185	365	201
当 期 純 利 益	130	260	145

<親会社株主に帰属する当期純利益>

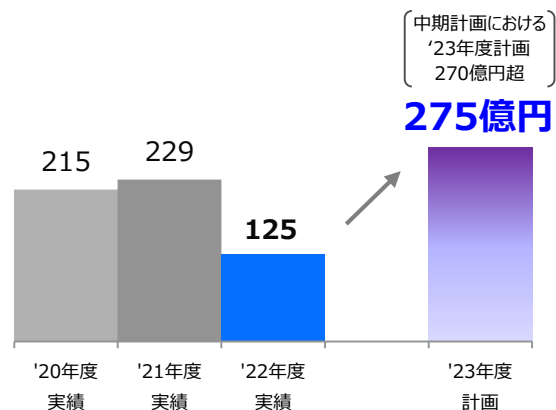


(2022年度)
・外国債券の処分に伴う売却損△184億円
・保有株式の評価損にかかる損失△53億円

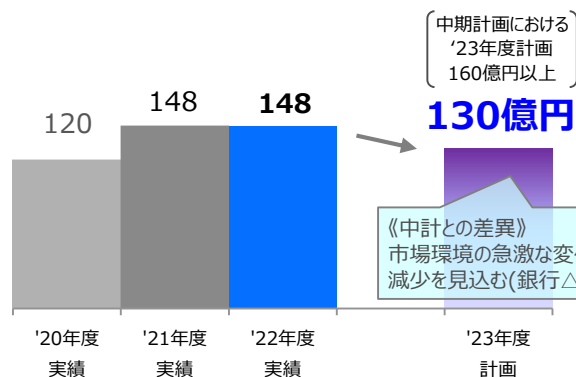
「中期計画2020」における経営目標の進捗状況

HD連結

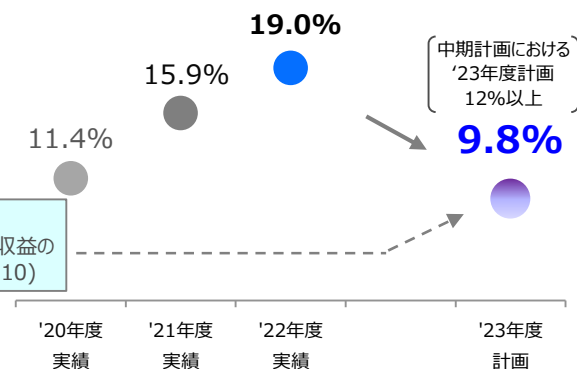
親会社株主に帰属する当期純利益



法人・個人のお客さまに対するコンサルティング業務に係る収益※1およびグループ会社当期純利益※2の合計



グループ会社連結寄与度※3

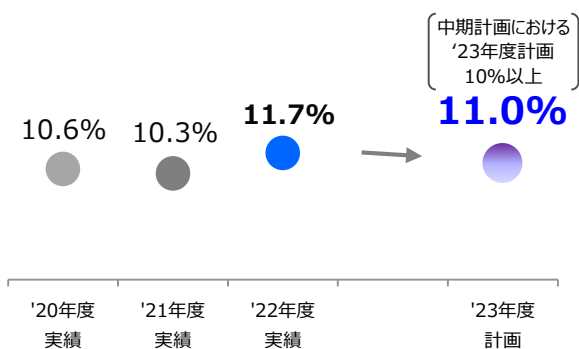


※1 法人・個人のお客さまに対する 法人ソリューション、アセットマネジメントおよび
コンサルティング業務に係る収益 = エクイティビジネスに係る収益の合計

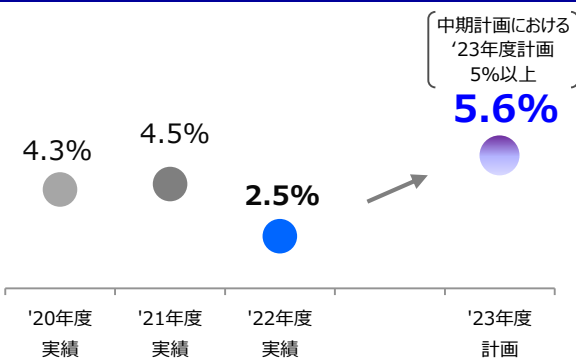
※2 グループ会社当期純利益 = 銀行を除く連結子会社の当期純利益に出資比率
を乗じた額の合計

※3 グループ会社連結寄与度 = $\frac{\text{グループ会社当期純利益}(\times 2)}{\text{親会社株主に帰属する当期純利益}}$

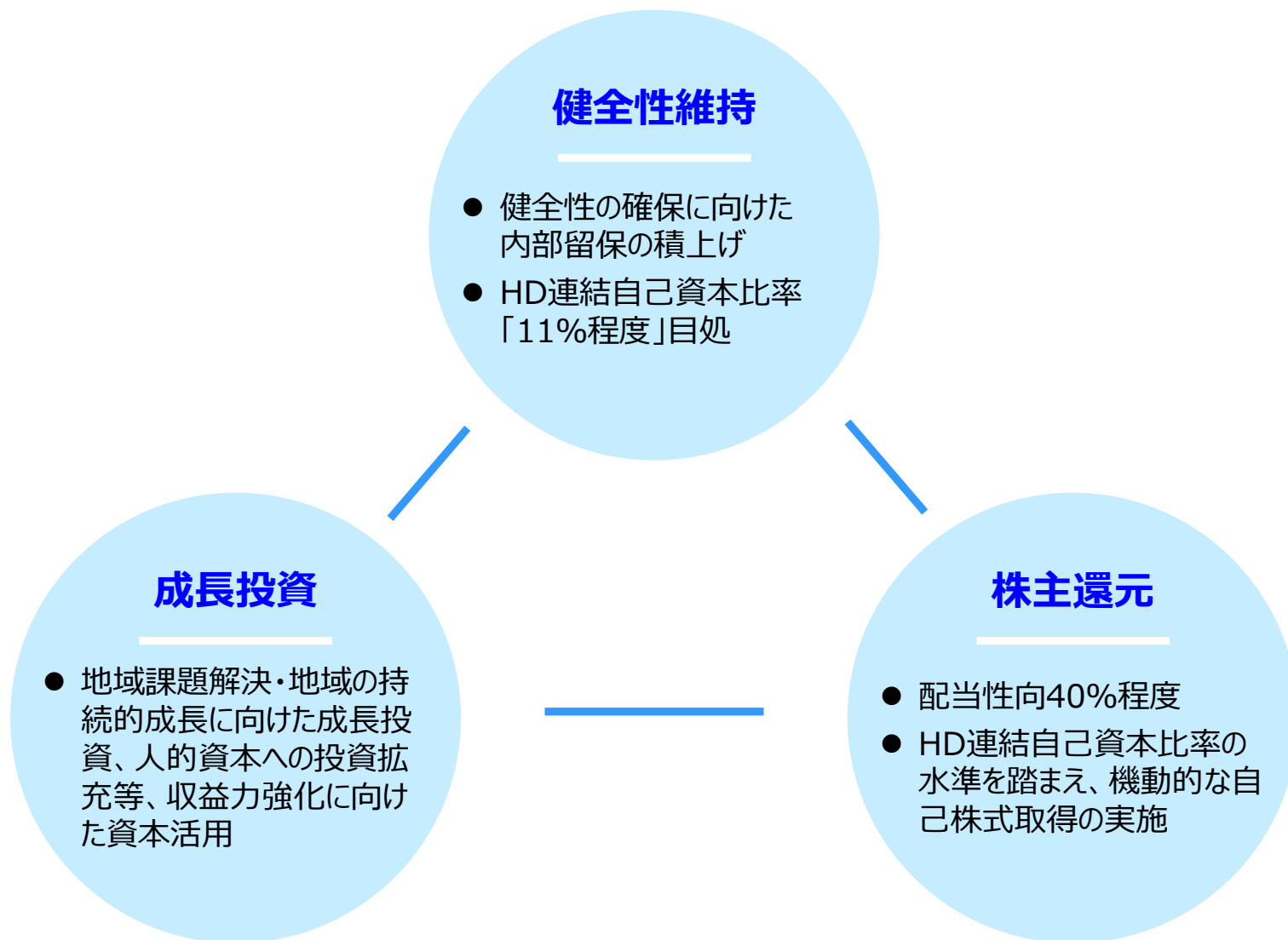
連結自己資本比率



連結ROE



◆ 「健全性維持」、「成長投資」および「株主還元の向上」のバランスを重視した資本政策を展開



- ◆ 配当目安テーブルを廃止し、配当性向「40%程度」とする配当方針へ見直し
- ◆ また、HD連結自己資本比率「11%程度」を目処とし、機動的な自己株式取得を実施（2023年度は、30億円実施）

これまでの株主還元

配当目安テーブルに基づき1株当たり配当金額を決定

親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり配当金額			連結配当性向
	①安定配当	②業績連動配当	①+②	
330億円超～	18円	18円	36円	～34.1%未満
300億円超 ～330億円以下		15円	33円	31.2%以上 ～34.4%未満
270億円超 ～300億円以下		12円	30円	31.2%以上 ～34.7%未満
240億円超 ～270億円以下		9円	27円	31.2%以上 ～35.1%未満
210億円超 ～240億円以下		6円	24円	31.2%以上 ～35.7%未満
180億円超 ～210億円以下		3円	21円	31.2%以上 ～36.4%未満
～180億円以下		0円	18円	31.2%以上～

見直し後

配当

配当性向「40%程度」

自己株式
取得

HD連結自己資本比率「11%程度」を目処として、機動的な自己株式取得を実施（原則、消却を実施）
2023年度は、30億円実施

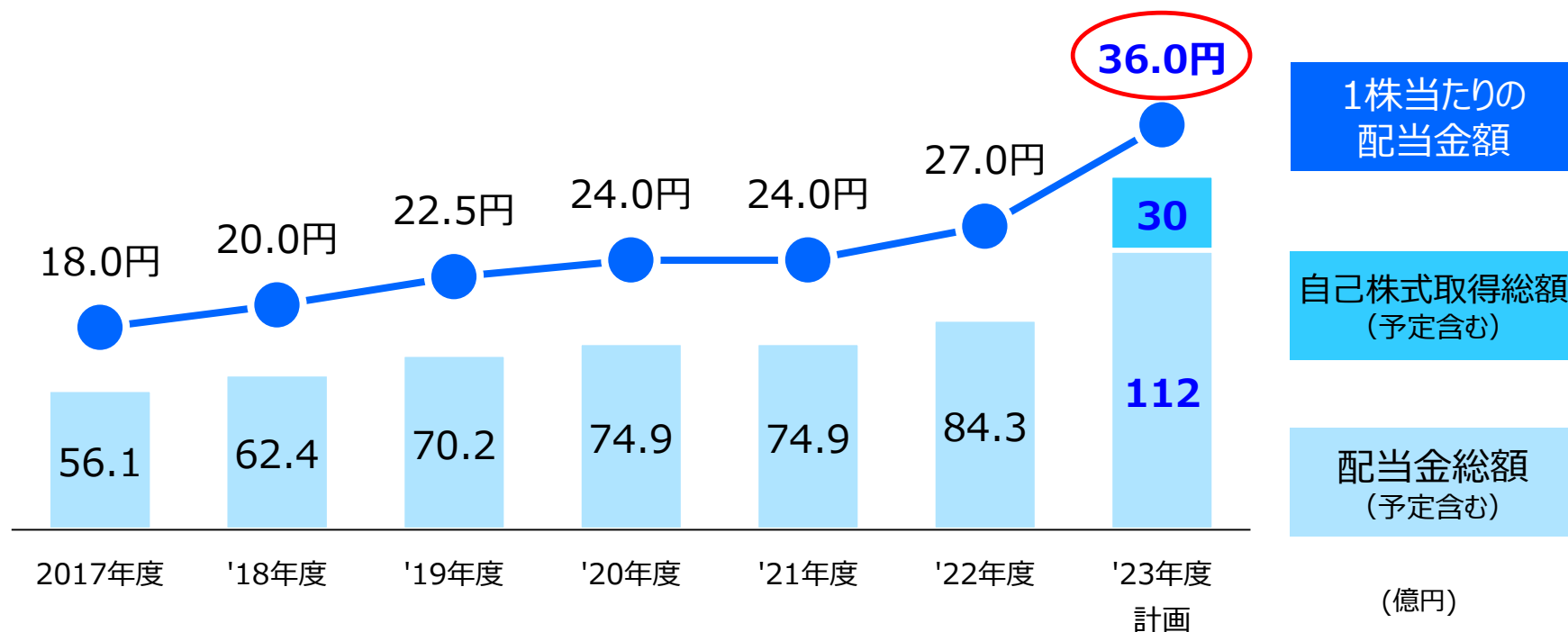
（連結自己資本比率11%の考え方）

- 自己資本比率における連単差（HD連結と銀行単体の差）は、約1.0pt。
- 銀行単体の自己資本比率が10%程度の水準が確保できていれば、**ストレス時においても、規制値以上の自己資本比率を維持**することが可能。
- 上記を踏まえ、**HD連結自己資本比率「11%程度」を維持**。

株主還元状況（配当予想）

HD連結

- ◆ 2023年度の1株当たり年間配当金（予想）は、前年比9円増配の36.0円
- ◆ 着実な利益計上による増配の実現に加え、内部留保の充実を通じた機動的な自己株式の取得等、柔軟な株主還元を展開していく



配当性向	21.7%	24.3%	28.8%	34.6%	32.5%	67.1%	40.7%
総還元性向	21.7%	24.3%	28.8%	34.6%	32.5%	67.1%	51.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	258億円	255億円	242億円	215億円	229億円	125億円	275億円

(注) 1. 2017年10月1日に株式併合（2株を1株に併合）を実施しております。2017年度の1株当たりの配当金額は、株式併合を勘案した金額を記載しております。
 2. 2020年10月1日にひろぎんHDを設立したことを受け、2020年度は、広島銀行が実施した1株当たり12円（配当金総額3,748百万円）の中間配当と合計で記載しております。